



市民病院 ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

小学生病院体験ツアーを開催します

今年で3回目になります小学生病院体験ツアーを7月31日(木)に開催します。

6月から広報へきなどで募集したところ、たくさんのご応募ありがとうございました(今年度の募集は終了しました)。

今年も医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、臨床工学士、栄養士、歯科衛生士など、さまざまな職種の仕事を体験していただきます。



医師の仕事としては外科医体験、看護師と臨床工学士の仕事として心電図の器械を使って自分の心臓の動きを観察したり、薬剤師の仕事として調剤を体験するなど、今年もたくさんの体験をしていただけるように準備をしています。



地域の皆さんに病院に愛着を持っていただけるように、また未来の医療従事者を夢見ていただけるように、たくさんの楽しい企画を用意し、皆さんをお待ちしております。

この小学生体験ツアーの様子は、今後のハナちゃん通信のなかで報告させていただく予定です。お楽しみに。

碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

NO.3 鷺塚湊はどこに？

江戸時代、現在の碧南市には「大濱湊」^{みなと}「鷺塚湊」^{みなと}という大きな港があり、とても栄えていました。大濱湊については、大浜漁港、新川港や埋立地のふ頭などからなんとなく想像できますが、さて、鷺塚湊は本当にあったのでしょうか。

右の絵図は1605年に矢作新川(今の矢作川)が開削された後の鷺塚村東部の様子を表しています。もともと船着場として発展し、海上輸送の拠点となっていた鷺塚湊は、岡崎方面との川船の便も開け、矢作川水運の基地として重要な役割を持つようになりました。

川寺(川端蓮成寺)、池寺(池端蓮成寺)の位置から、この当時は、今の上塚橋あたりを中心に鷺塚湊があったようです。大庄屋片山八次郎家の蔵屋敷、さらに常夜灯、渡船場などが見られます。

やがて矢作川の運んだ土砂によって海が浅くなり、鷺塚湊は港としての機能を果たせなくなりました。ちなみに、矢作川が開削されてから現在まで河口は海側に約10kmほど移動しました。



△碧南市所蔵の古地図